

令和3年4月

港区立青山小学校 学校経営の根柢となる事がら

校長 高山直也

《日本のめざす教育》

■学習指導要領 前文

一人一人の児童が、

- 自分のよさや可能性を認識するとともに、
- あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、
- 多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、
- 豊かな人生を切り拓ひらき、

持続可能な社会の創り手となることができるようとする。

■身に付けるべき力



◎新時代に必要な資質・能力とは？

「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性など」の3つの柱。

①知識・技能 → 何を知っているか、何ができるか

- ・各教科等に関する個別の基礎的・基本的な知識や技能の習得だけではなく、既存の知識と関連付けたり組み合わせたりすることで育まれる、社会の様々な場面で生きて働く知識・技能

②思考力・判断力・表現力 → 理解していること・できることをどう使うか

- ・問題を発見し、その解決に必要な情報を収集・蓄積するとともに、自分の持ちうる知能・技能をフル活用しながら問題を解決へ導くための思考力
- ・必要な情報を取捨選択し、問題解決への方向性を定め、結論を決定するための判断力
- ・自分の意思・意見をどんな相手・状況であっても伝えるための表現力

③学びに向う力・人間性等 → どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

- ・受動的にただ言われたこと学ぶのではなく、主体的に学習に取り組む態度も含めた学ぶ力
- ・グローバル化によって、より多様化する世界を尊重し、様々な人々と互いの良さを引き出しながら協働する力、持続可能な社会づくりに貢献する力、リーダーシップやチームワーク、豊かな感性や他者への思いやりの心などを持ち合わせた人間性

《東京都のめざす教育》

■東京都教育施策大綱 令和3年3月策定

< 東京のめざす教育 >

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って自ら伸び、育つ教育

< 東京の目指す子供の姿 >

- ☆ 自らの個性や能力を伸ばし、様々な困難を乗り越え、人生を切り拓ひらいていくことができる子
- ☆ 他者への共感や思いやりを持つとともに、自己を確立し、多様な人々が共に生きる社会の実現に寄与する子

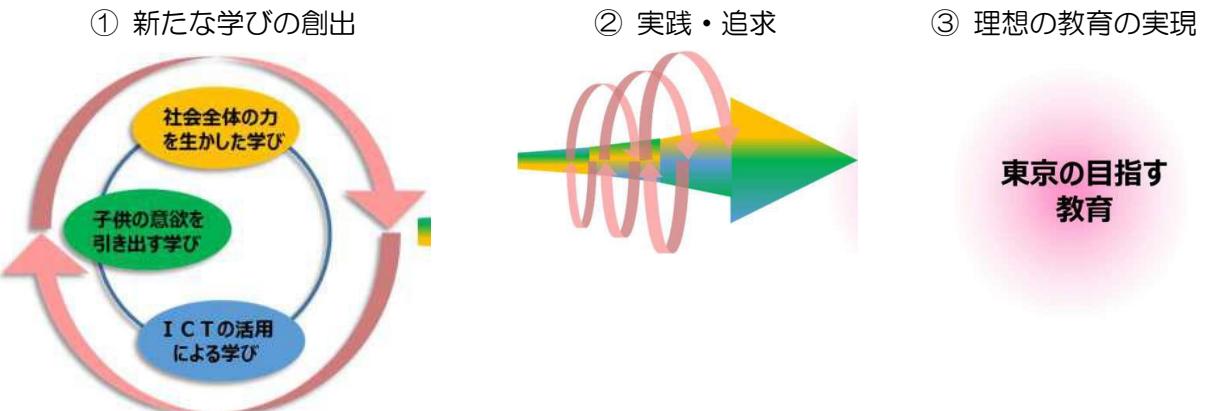
< 3つの「学び」>

- 子供の個性と成長に合わせて意欲を引き出す「学び」
- 子供の成長を社会全体で支え、主体的に学び続ける力を育む「学び」
- ICTの活用によって、子供たち一人ひとりの力を最大限に伸ばす「学び」(教育×DX※)

※ DX=デジタルトランスフォーメーション

< 東京型教育モデル >

- ① 3つの「学び」を有機的に連携させ、新たな「学び」を創出
- ② 新たな「学び」を日々実践・改善しながら、理想の教育を追求
- ③ 社会の変化に柔軟に対応しながら、東京の目指す教育を実現



< 「東京型教育モデル」で実践する特に重要な事項 >

- 1 一人ひとりの個性や能力に合った最適な学びの実現
- 2 Society5.0 時代を切り拓ひらくイノベーション人材の育成
- 3 世界に羽ばたくグローバル人材の育成
- 4 教育のインクルージョンの推進
- 5 子供たちの心身の健やかな成長に向けたきめ細かいサポートの充実
- 6 子供たちの学びを支える教師力・学校力の強化

持続可能な社会の
担い手となる力を
育てる

《港区のめざす教育》

■港区学校教育推進計画 令和3年度～8年度 (令和3年2月策定)

< 目指すべき子供の姿 >

夢と生きがいをもち、自ら学び、考え、行動し、未来を創造する子ども

< 学校経営の視点 >

- 1 子どもたちが安全で安心して過ごすことができる学校づくり
- 2 子どもたちがいきいきと楽しく学ぶことができる学校づくり
- 3 保護者や地域に信頼される学校づくり

基本目標1 「徳」「知」「体」を育む学びの推進

- 施策：(1) 豊かな心の育成 ①人権教育 ②道徳教育 ③いじめ防止事業 ④芸術鑑賞
(2) 確かな学力の育成 ①基礎学力・活用力 ②きめ細かな指導 ③学校図書館
(3) 健やかな体の育成 ①健康な体づくり ②食育の推進 ③スポーツを楽しむ心
(4) インクルーシブ教育の推進 ①特支教育の充実 ②特支教育体制の整備

基本目標2 未来を切り拓いて生き抜く力の育成

- 施策：(1) 未来を創造する力の育成 ①ICT活用 ②理数・STEAM ③体験学習
(2) 幼・小中一貫教育の推進 ①幼・小中一貫教育 ②小学校入学前教育
(3) 地域の課題に向き合う意識を育む教育の推進 ①環境教育 ②郷土愛醸成
(4) 相談体制の充実 ①相談機能の充実 ②不登校対策の推進

基本目標3 地域社会で支えあう学びの推進

- 施策：(1) 様々な団体との協働・連携による教育の推進
①地域とともにある学校づくり ②コミュニティスクール ③地域学校協働活動推進事業
④様々な団体との協働・連携
(2) 国際社会に対応する教育の推進
①国際理解教育 ②グローバル化への対応

基本目標4 学びを支える教育環境の充実

- 施策：(1) 学校の教育力の向上 ①教員の指導力向上 ②教員の負担軽減 ③給食費の公会計化
(2) 安全・安心で魅力ある教育環境の整備
①学校施設の充実 ②安全・安心な教育環境 ③防災等安全に関わる教育
④学びの未来応援施策

«青山小学校の特色　＝　強み»

< 学校の中 >

- 146年という有数の歴史を誇る学校　青山の地の本校である。
- 小規模校で、教員全員で児童をみることができる。
- あすなろ学級があり、ステップアップ教室がある。また、至近距離に青山特別支援学校がある。
特別支援教育の中心的・指導的な役割を担う環境である。指導のノウハウを共有でき、地域で専門的な知識を共有できる。
- 平成16年に「学校版環境ISO」を取得していて、校内に持続可能な社会に向けた取り組みの施設が数多くある。
- 校内に実のなる木やビオトープ（池）、田んぼやホタルの池、屋上には壁面緑化プランタがある。

< 学校を取り巻く環境 >

- 都心に位置しながら、周りを公園に囲まれた自然あふれる都会のオアシスである。
- 学校評議員をはじめ、地域の方々が学校愛をもっている。
- 地域に児童が参加できる行事や組織が充実している。
- 学区域に一流企業の本社が複数あり、どれもSDGsに熱心である。また、自然と共に存する街づくりが進行している。
- 徒歩圏内に、警察署・消防署・郵便局等の施設がある。
- 徒歩圏内に、オリ・パラの会場（国立競技場）やプロスポーツの競技場などがある。
- 徒歩圏内に、「青山」と名の付く園・学校がそろっている。

（青山保育園・青山小学校・青山中学校・青山高校・青山特別支援学校・青山学院大学）